

基本計画	5	施策番号	42	総合戦略		予算科目	6	1	3	産業振興部農林課	
事務事業名	遊休農地活用支援								説明書ページ	239	
		事業費	国庫支出金		都支出金		市債		その他	一般財源	
予算	31年度(2019)	8,537			3,800					4,737	
	30年度(2018)	19,779			7,300					12,479	
	対前年	11,242			3,500					7,742	
29年度(2017)決算		6,314			1,500					4,814	
		事業費 + 職員費	職員費		嘱託員		臨時職員		～ の計	・ は 事業費に含む	
31年度(2019)		23,357	1.9人	14,820					14,820		
30年度(2018)		35,379	2.0人	15,600					15,600		

遊休農地の活用を推進するため、遊休農地を再生し、農業生産活動の再開に必要な整備費用の一部を補助するとともに、「はちおうじ農業塾」において農業研修を行い、担い手を育成する。また、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新規青年就農者に対して経営確立を支援する資金を交付する。

- | | |
|---------------|--|
| 1 農家開設型農園開設整備 | 500 |
| 農家開設型農園補助金 | 500 |
| 補助対象 | 農業体験農園又は農家直営農園の開設に必要な水道・簡易トイレ・農機具庫・耕うん機・刈払い機等の整備費用 |
| 補助率 | 1/2(限度額 50万円) |
| 2 新規青年就農者への支援 | 3,000 |
| 青年就農給付金 | 3,000 |
| 交付額 | 1人当たり150万円(最長5年間) |
| 3 はちおうじ農業塾 | 4,237 |
| 主な経費 | |
| 農業研修委託料 | 1,848 |
| 草刈委託料 | 1,145 |
| 土地借上料 | 9,411.86㎡(大谷町906ほか(都有地)) 1,017 |
| 4 遊休農地再生 | 800 |
| 農地再生事業補助金 | 800 |
| 補助対象 | 樹木の伐採・抜根などの障害物除去、深耕、整地
遊休農地の利活用を図る上で必要な費用 |
| 補助率 | 1/2以内(補助限度額 10a当たり40万円) |

農業体験農園

農業者等が農業経営の一環として、播種・定植の段階から収穫まで指導をしながら農業体験を行わせるもの

農家直営農園

農家及び農地所有者が自ら開設・経営し、区画貸しを行うもの

< はちおうじ農業塾 7,780 >
研修農場通路舗装工事の完了

【事業効果】

- ・ 新規青年就農者への支援による就農人材の確保・定着
- ・ はちおうじ農業塾で農家の農作業を支援できる人材を育成することによる担い手不足の解消

基本計画	5	施策番号	42	総合戦略		予算科目	6	1	3	産業振興部農林課	
事務事業名	農業環境の整備								説明書ページ	239	
	事業費	国庫支出金		都支出金		市債		その他	一般財源		
予算	31年度(2019)	85,516		47,955				1	37,560		
	30年度(2018)	93,463		61,884				2,663	28,916		
	対前年	7,947		13,929				2,662	8,644		
29年度(2017)決算	56,703		34,296				1,729	20,678			
	事業費 + 職員費	職員費		嘱託員		臨時職員		～ の計	は 事業費に含む		
31年度(2019)	98,776	1.7人	13,260					13,260			
30年度(2018)	108,283	1.9人	14,820					14,820			

環境に配慮した都市型農業を推進するため、環境保全型の農業用資材購入費の一部を補助するほか、公共性の高い農業施設を良好な状態に保つための整備を行うとともに、企業型農業経営の育成を目的に、農業用機械等の導入に対して補助を行う。また、都市農地の保全を図るため、都補助金を活用し、農家が行う防災兼用農業用井戸等の整備費の一部を補助する。

本年度は、農業環境の基盤整備により、地域の安全を確保するため、稼働の終了した力石営農飲雑用水施設の解体工事を行う。

- | | |
|--|--------|
| 1 環境保全型農業推進 | 1,000 |
| 環境保全型農業推進事業費補助金 | 1,000 |
| 補助対象 環境保全型資材(防草シート、防虫ネット等)及び有機質肥料等の購入経費 | |
| 補助率 1/2以内 | |
| 2 農業環境整備 | 84,516 |
| 主な経費 | |
| 力石営農飲雑用水施設解体工事費 | 6,110 |
| 小比企灌水設備工事費 | 23,447 |
| 農業用パイプライン、農道舗装等の改修 | |
| 都市農業活性化支援事業費補助金 | 33,385 |
| 補助対象 農業用機械(トラクター、コンバイン等)の導入経費 | |
| 負担割合 事業費 44,514 (都2/4 22,257 市1/4 11,128 農家1/4 11,129) | |
| 都市農地保全支援プロジェクト補助金 | 16,012 |
| 補助対象 農地保全のための施設(防災兼用農業用井戸等)の整備費 | |
| 負担割合 事業費 18,300(都6/8 13,725 市1/8 2,287 農家1/8 2,288) | |

< 小比企灌水設備等の整備 10,165 >
整備工事の進捗による減

< 関連事業 >

- | | |
|------------------|--------|
| 農作物獣害防止対策 | 16,388 |
| 野生獣追い払い・駆除委託料 | 10,516 |
| サル発信機取付及び動向調査委託料 | 2,024 |



災害時には生活用水として活用が可能な防災兼用農業用井戸

【事業効果】

- ・ 農業環境を整備することによる農業経営の安定化及び農業生産意欲の向上
- ・ 都市農地保全支援プロジェクト補助金を活用した農地保全のための施設の整備により、農地が持つ防災や環境保全などの多面的機能を発揮

基本計画	5	施策番号	42	総合戦略		予算科目	6	2	1	産業振興部農林課	
事務事業名	(充)民有林振興									説明書ページ	241
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	5,735		1,600		1	4,134				
	30年度(2018)	3,184					3,184				
	対前年	2,551		1,600		1	950				
29年度(2017)決算	10,712		6,765				3,947				
		事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計					
31年度(2019)	13,535	1.0人	7,800			7,800	は				
30年度(2018)	8,644	0.7人	5,460			5,460	事業費に含む				

森林資源確保や林業経営安定化等、森林の多面的機能の保全を図るため、木材PRイベントの実施や多摩産材製品の作製により木材利用を促進するほか、林道の維持管理を行う。
 本年度は、森林施業の集約化や適切な森林整備に活用するため、「森林法」に基づき、東京都が構築する森林クラウドシステムを利用し、林地台帳を公表する。

- 1 民有林振興 3,182
 主な経費
 - 多摩産材製材委託料 2,413
 - 作製物 モニュメント看板(道の駅八王子滝山)
 ベンチ4基(道の駅八王子滝山)
 総合案内カウンター(本庁舎)
 - 木材PRイベント実施委託料 365
- (新) 2 森林クラウドシステムの活用 300
 森林クラウドシステム使用料 300
- スケジュール
 平成31年(2019年)4月 林地台帳システム運用・公表開始
- 3 林道維持管理 1,983
 主な経費
 - 林道維持管理委託料 1,735

「八王子市公共建築物等における多摩産材利用推進方針」(抜粋)
 基本的な事項

公共建築物等の整備を実施するに当たっては、積極的に木材を利用した方法を採用し、多摩産材の使用に努めるものとする。ただし、多摩産材の供給量の不足等が生じた場合には、国産材を併用して使用する。

【事業効果】

- ・ 多摩産材利用(PR)による、多摩地域の森林の適切な整備・保全及び地域材を利用する産業の活性化
- ・ 効率的な間伐等による、森林の健全化や地域の雇用創出
- ・ 林地台帳活用による、伐採・造林の指導監督や災害復旧工事・公共事業等の円滑化



多摩産材を利用した道の駅八王子滝山
 モニュメント看板のデザイン画